

下水道行政の最近の動向について

令和7年10月29日

国土交通省
上下水道審議官グループ

令和8年度上下水道関係予算概算要求の概要

要求の柱

埼玉県八潮市で発生した下水道等に起因する道路陥没事故や人口減少等を踏まえ「強靱で持続可能な上下水道システムの構築」に向けて以下の取組を上下水道一体で推進

1. 下水道等に起因する大規模な道路陥没事故を踏まえた上下水道の老朽化対策
2. 持続可能な上下水道の実現に向けた基盤強化

個別補助金

単位：百万円

区分	令和8年度要求額	令和7年度予算額	対前年度倍率
上下水道	166,052	138,375	1.20
うち 上下水道	7,692	6,409	1.20
うち 水道	24,323	20,269	1.20
うち 下水道	134,037	111,697	1.20

社会資本整備総合交付金、防災・安全交付金

単位：百万円

区分	令和8年度要求額	令和7年度予算額	対前年度倍率
社会資本総合整備	1,604,689	1,334,365	1.20
うち 社会資本整備総合交付金	586,153	487,410	1.20
うち 防災・安全交付金	1,018,536	846,955	1.20

※水道・下水道事業に係る費用は、この内数

事項要求

- 第1次国土強靱化実施中期計画に基づく取組の推進に必要な経費
- 労務費確保の必要性や近年の資材価格の高騰の影響等を考慮した公共事業等の実施に必要な経費

- 令和7年1月に埼玉県八潮市で発生した下水道管路の破損に起因すると考えられる道路陥没事故を踏まえ、同種・類似の事故の発生を未然に防ぐため、**事故発生時に社会的影響が大きい上下水道管路の更新とリダンダンシーの確保を推進すべく、支援対象施設・自治体を拡大。**

(1) 事故発生時に社会的影響が大きい上下水道管路の更新 〔個別補助事業の創設、交付金事業の拡充〕 (水道・下水道) (水道・下水道)

大口径管路や緊急輸送道路・重要物流道路下の管路など、事故発生時に社会的影響が大きい水道・下水道管路の更新を重点的に支援

(2) 事故発生時に社会的影響が大きい上下水道管路のリダンダンシー確保 〔個別補助事業の創設、交付金事業の創設〕 (水道・下水道) (水道・下水道)

事故発生時に社会的影響が大きい上下水道管路のうち、修繕・改築や災害・事故時の迅速な対応が容易ではない管路のリダンダンシー確保を重点的に支援

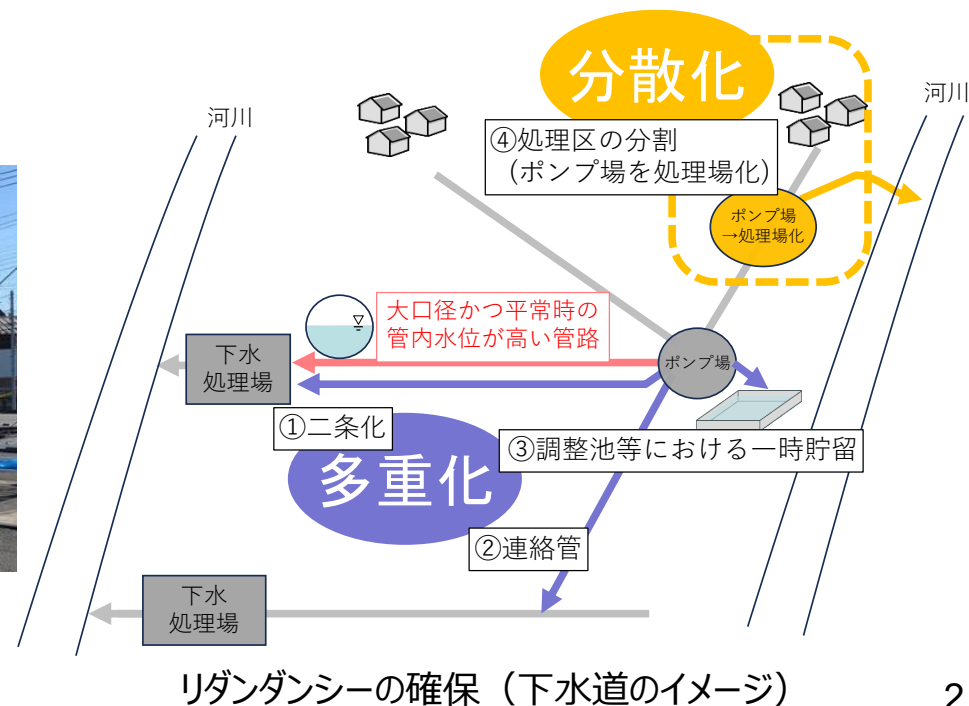


水管橋（和歌山市）



大口径下水道管（埼玉県八潮市）

社会的影響が大きい管路の例



- 上下水道施設の老朽化や、人口減少に伴う料金収入の減少、地方公共団体の職員減少などが進む中、上下水道の基盤強化を図るため、**経営広域化、分散型システム導入、D X等を推進**。

(1) 経営広域化の推進

〔個別補助事業の創設・交付金事業の拡充〕
(水道・下水道) (水道)

上下水道の持続的な経営体制を構築するため、複数自治体による一定規模以上の経営広域化に係る事業を重点支援

(2) 水道事業における分散型システム導入の推進

〔個別補助事業の拡充・交付金事業の拡充〕
(水道) (水道)

人口減少社会において持続可能な給水を実現するため、水道事業者が分散型システムを導入する際の施設整備（水源整備、小型浄水処理装置、運搬送水のための給水車導入など）を支援対象に追加

(3) D Xの推進

〔交付金事業の拡充〕
(下水道)

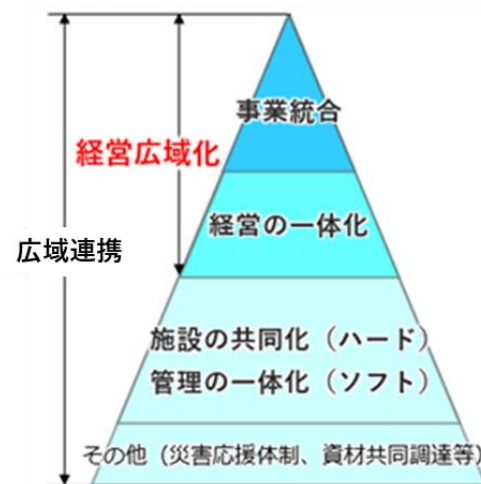
効率的な維持管理や迅速な災害対応のため、下水道管路に加え、下水処理場・ポンプ場の施設情報等のデジタル化を支援対象に追加

(4) PFASへの対応強化

〔個別補助事業の拡充・交付金事業の拡充〕
(水道) (水道)

令和8年4月1日に施行される、PFOS及びPFOAの水道水質基準化を踏まえ、浄水処理施設などPFAS対策に係る補助要件の緩和等

経営主体が単一となり施設、財源、人員等の経営資源を一元的に管理



上下水道事業の経営広域化の推進



分散型システムの例
(給水車による運搬送水)



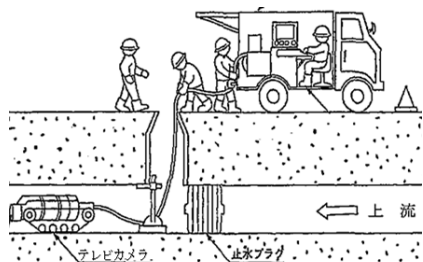
PFASへの対応の例
(活性炭処理施設)

- 上下水道における重要な課題に対して、国が主体となった革新的技術の実証及びガイドライン化により、各地方公共団体での技術導入を促進する。

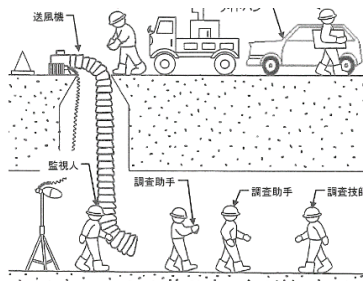
■ メンテナンスの高度化・メンテナビリティの向上・リダンダンシーの確保につながる技術

【下水道管路の点検・調査の現状】

- 内径800mmまでの下水道管人が入れないため、TVカメラで実施



- 内径800mm以上の下水道管人が入り潜行目視を行うことが基本



- 常時管内水位が高く、水位低下が困難で、人が近づけない管路など、正確な点検・調査が容易でない箇所も存在

【技術の高度化・実用化により目指す姿】

精度の高い点検・調査 <High Quality>

- 人が近づけない管路等においても、精度の高い点検・調査を可能とする
- 特に社会的影響が大きい箇所は、管路内面の調査に加え、空洞調査、管厚・強度測定等を組み合わせ高度化

作業安全の確保 <No Entry>

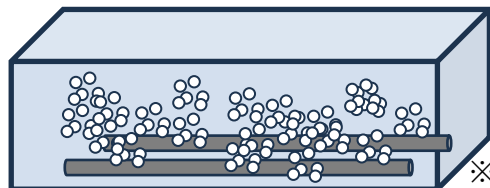
- 作業安全の確保や働き方改革等の観点から、人ができる限り管路に入らず点検・調査を行う

<技術の例>

無人化・省力化技術、大深度の空洞調査、大口径下水道管の管厚や強度測定、大口径水道管路の漏水調査、水道管路・大口径下水道管路の改築技術等

下水道管路における安全性確保

■ 2050年カーボンニュートラルの実現に資する省エネや創エネなどの技術



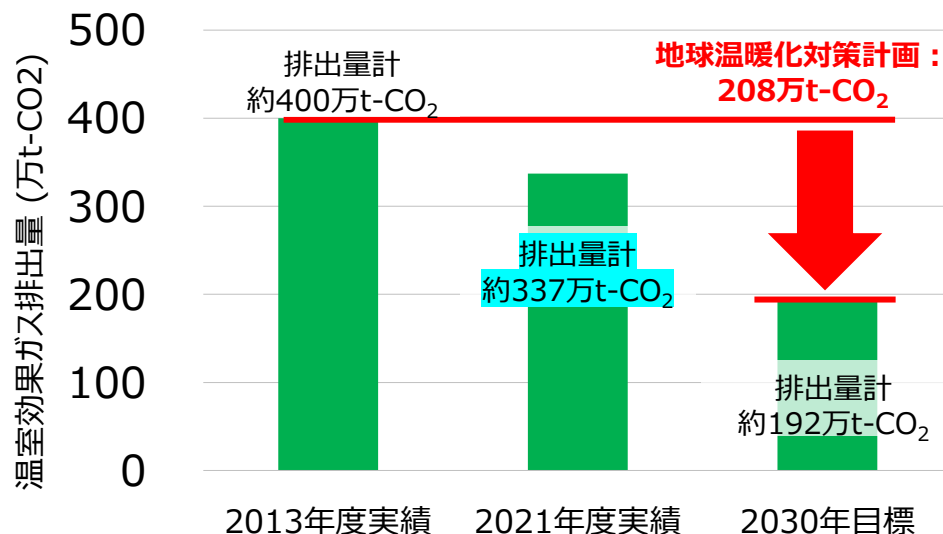
- 上下水道施設から排出される温室効果ガスの削減
- 上下水道資源・エネルギーの活用

※従来下水処理 (イメージ)

下水道における脱炭素の取組の推進

- 下水道では、下水処理の過程で多くのエネルギーを使用しており、年間約600万t-CO₂の温室効果ガスを排出。
- 地球温暖化対策計画(R7閣議決定)において、下水道における省エネ・創エネ対策の推進、下水污泥焼却の高度化等により、2030年度までに208万t-CO₂の削減(対2013年度比)を見込む。

■下水道からの温室効果ガス排出量



注：排出量は創エネによる削減分も含む

※2030年度の電力排出係数（見込み）を適用した場合



■地球温暖化対策計画(R7閣議決定)における目標

①下水污泥のエネルギー化(創エネ)

- 目標:** 約70万t-CO₂を削減
- 消化ガス利用施設、固形燃料化施設の着実な導入
 - 地域バイオマスの受入れや廃棄物処理施設等との連携によるエネルギー利用量の増加

②污泥焼却の高度化

- 目標:** 約78万t-CO₂を削減
- N₂O排出抑制型の焼却炉への更新
 - 焼却を伴わない污泥処理方法（固形燃料化等）への変更
 - 高温焼却（850℃以上）の100%実施

③省エネの促進

- 目標:** 約60万t-CO₂を削減
- 電力・燃料消費を年率約2%削減
 - 省エネ診断等による電力・エネルギー消費等を踏まえた機器更新や運転管理の効率化

技術開発支援制度(一覧)

支援制度	創設年度	制度概要	期間	金額 (1件当たり)
AB-Cross (A-JUMP) (B-DASH) 【実規模実証】	R6(補正) R6 H23	【実証段階(実規模)】 ・実規模で実証できる段階にある技術の実証 ・実施設を対象とした実証に限定	2年間 (最長)	数千万円 ～十数億円
AB-Cross (A-JUMP) (B-DASH) 【FS調査】	R6(補正) R6 H28	【実証段階(パイロットプラント)】 ・1～2年のFS調査実施後に、実規模実証に進める段階にある技術の調査 ・導入効果などを含めた普及可能性の検討や技術性能の確認	2年間 (最長)	5,000万円 以内
応用研究 (下水道)	H29	【開発段階】 ・将来的に下水道事業の課題解決に資すると考えられる技術について、実現可能性を研究する制度 ・大学等によるラボレベルの研究を終え、企業による応用化に向けた開発段階にある研究 ・処理場や管渠などの実規模施設を必要としない技術も対象 ・主に民間企業(大学との共同研究も可)を対象	2年間 (最長)	3,000万円 以内
上下水道 科学研究費 補助金	R6	【研究段階】 ・将来的に社会的課題解決に資すると判断できる水道、下水道の研究を補助する競争的資金制度 ・新水道ビジョンや下水道技術ビジョンに記載がなくても幅広く研究を支援 ・主に大学や研究を主な事業目的としている国立研究開発法人等の研究者を対象	3年間 (最長)	700万円 程度

令和7年度 技術開発支援制度実施状況

◆ AB-Cross(B-DASH)プロジェクト

No	年度	テーマ分類	実施事業名称	実証フィールド
1	R4	消化汚泥から効率的にリンを回収する技術(実規模実証:補正予算)	消化汚泥から効率的にリンを回収する技術に関する実証事業	神戸市
2		MAPにより脱水ろ液から効率的にリンを回収する技術(実規模実証:補正予算)	MAPにより脱水ろ液から効率的にリンを回収する技術に関する実証事業	横浜市
3	R5	発酵熱を利用した効率的なコンポスト化技術(実規模実証)	縦型密閉発酵槽による下水汚泥の肥料化技術に関する実証事業	島根県
4		汚泥付加価値向上のための超高温炭化技術(実規模実証)	汚泥の高付加価値化と低炭素社会に貢献する超高温炭化技術に関する実証事業	気仙沼市
5		炭化物により下水汚泥資源からリンを回収する技術(実規模実証:補正予算)	リン吸着バイオ炭によるリン回収および炭素貯留技術の実証事業	広島県福山市
6	R6	下水汚泥の肥料利用促進に向けた資源回収技術(実規模実証)	余剰汚泥からの高効率MAP回収システムに関する実証事業	福岡市
7		下水処理場における省エネやCO2削減など脱炭素化につながる技術(FS調査)	下水汚泥消化ガスのEx-situ型バイオメタネーション反応技術に関する調査事業	—
8		化学物質や病原性微生物に関する下水流入水の効率的な計測技術(FS調査)	リアルタイム感染症動向把握のための下水バイオマーカーセンサの開発	—
9	R7	分散型システム(実規模実証:補正予算)	住宅向け小規模分散型水循環システムの地域展開実証事業	石川県珠洲市
10		ダウンサイジング可能な技術(実規模実証)	好気性グラニュールによるダウンサイジング可能な下水処理技術	宮城県
11		効率的な耐震化技術(実規模実証)	補強金具による非耐震ダクタイトル鋳鉄管路の耐震補強の実証事業	石川県穴水町
12		分散型システム(実規模実証)	中山間部における分散型水循環システムの実証研究	長野県喬木村
13			小規模水道におけるハイブリッド小型緩速ろ過システムの実証事業	熊本県天草市 長野県中川村
14		業務の効率化・省人化に資する技術(FS調査)	中大口径管内表面状態評価技術	—
15			浄水場ビッグデータを活用したかび臭濃度予測ソフトの開発に関する調査事業	—
16			加速度計による衝撃応答計測・微動計測技術を用いた水管橋の点検効率化および高度化実証事業	—

令和7年度 技術開発支援制度実施状況

◆ 応用研究(下水道)

No	年度	テーマ分類	研究課題名称
1	R6	下水道施設における2050年カーボンニュートラルに資する脱炭素化技術(継続)	消化ガスを利用したex-situ型バイオメタネーションリアクターによる高濃度メタン生成技術の開発
2		下水道資源を活用した肥料化技術(継続)	下水汚泥分離液からの液肥原料の生産技術開発と肥効・安全性評価
3	R7	下水道施設における2050年カーボンニュートラルに資する技術(新規)	下水汚泥焼却灰からのリン酸抽出グリーン新技術
4			嫌気性アンモニア酸化反応を利用した下水と返流水の統合処理に関する研究
5		下水道におけるデータやデジタル技術の活用に資する技術(新規)	デジタルツインと小型ドローンによる下水道管点検のDXソリューションの開発

◆ 上下水道科学研究費補助金

No	年度	テーマ分類	研究課題名称
1	R5	厚生労働省科研費(継続)	水道情報の活用等による技術水準の確保及び技術継承のための研究
2	R6		人口減少下における自然災害に強靱かつ回復力の高い水道システムの構築に関する研究
3	R6	水道施設・下水道施設から発生する汚泥の有効利用に関する研究(継続)	上水汚泥の添加による下水直接膜ろ過のアップグレード
4		下水道に関わる効率的な水処理システムの研究(継続)	バイオポリマー高速除去装置を活用した新規ファウリングフリーMBRの開発
5	R7	人口減少下における上下水道システムの最適化に関する研究	低人口密度地域における上下水道インフラの再編プロセスの構築
6		上下水道施設の破損に起因する大規模陥没の予兆検知等の技術に関する研究	水質情報を用いた下水管関連陥没リスクマッピング技術の開発
7			既設光ファイバケーブルを用いたセンシング技術による地中空洞化検知に関する研究
8			移動型ミュオン検出装置を利用する陥没予兆検知に関する研究

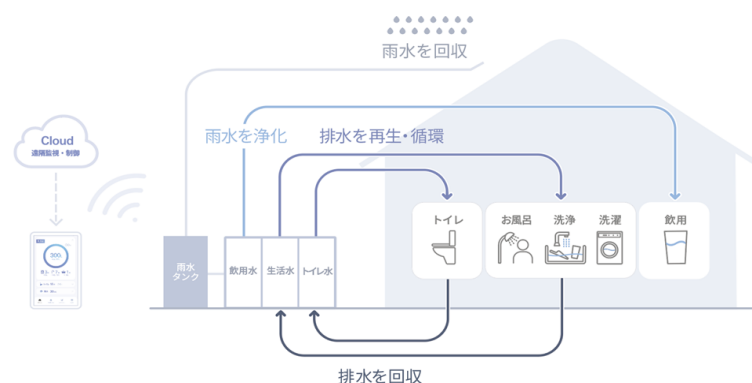
- 上下水道における課題の解決に向けた技術実証と導入促進を効率的かつ効果的に実施するため、「上下水道一体革新的技術実証事業(AB-Cross)」を創設
- 国が主体となり、革新的技術の実証及びガイドライン化により、多くの地方公共団体での新技術の導入を促進

[R6補正予算] テーマ:分散型システム

実規模実証:住宅向け小規模分散型水循環システムの地域展開実証事業

実施者:WOTA(株)・石川県珠洲市

住宅向け小規模分散型水循環システム



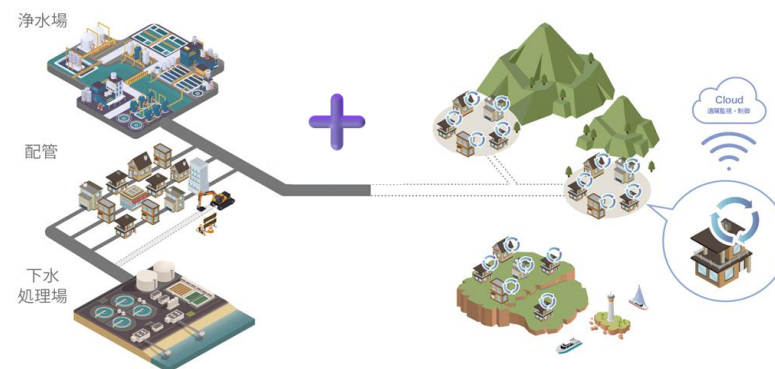
実証内容

①小規模分散型水循環システムの設置・管理

- ・ 住民説明、現地調査、システム設置、運転、水質検査等

②ベストミックス計画手法の構築

- ・ 分散型システム導入の考え方の整理
- ・ 分散型システム導入のコスト計算手法の整理 等



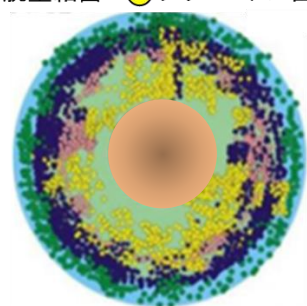
[R7予算] テーマ:ダウンサイジング可能な技術
実規模実証:好気性グラニュールによる
ダウンサイジング可能な下水処理技術
実施者:メタウォーター(株)・日本下水道事業団・宮城県

実証内容

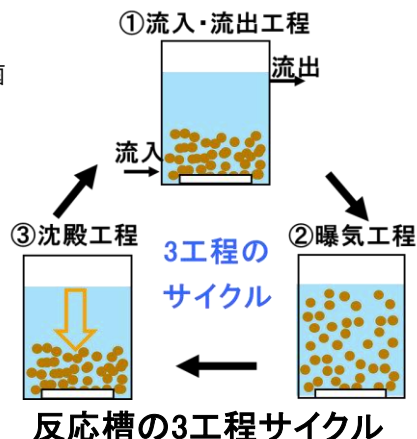
好気性グラニュールを用いた下水処理技術について、処理水質・処理能力や、消費電力量の低減効果等を実証する

提案技術の概要

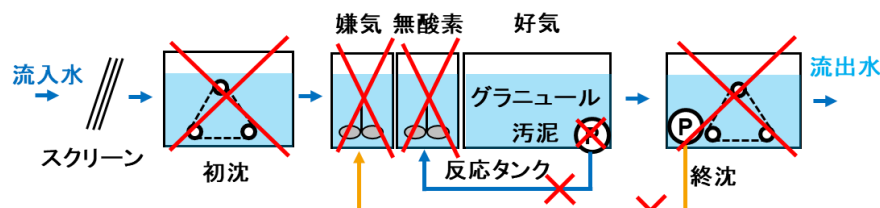
●硝化細菌 ●リン蓄積菌
 ●脱窒細菌 ●グリコーゲン蓄積菌



グラニュール汚泥の断面イメージ



反応槽の3工程サイクル



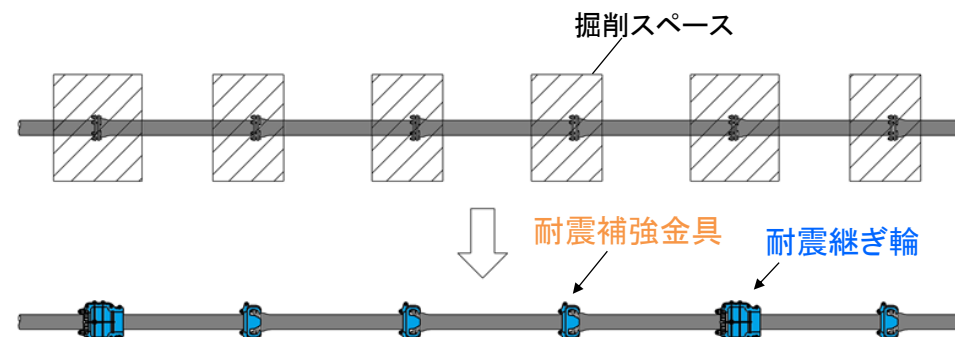
本技術導入で不要となる高度処理設備

[R7予算] テーマ:効率的な耐震化技術
実規模実証:補強金具による非耐震ダクトイル鋳鉄
管路の耐震補強の実証事業
実施者:大成機工(株)・(株)NJS・石川県穴水町

実証内容

水道管の耐震化の促進に向けて、更新順序が先送りとなる非耐震ダクトイル鋳鉄管の継手に補強金具を取り付けて耐震補強を行う技術について実証する

提案技術の概要



○離脱防止機能を付加する「耐震補強金具」と伸縮・水密・離脱防止機能を付加する「耐震継ぎ輪」、2種類の耐震型補強金具を組み合わせ、既設管路の耐震補強を行う。

○実運用を活用した管路補強事例を示し、補強金具による継手の耐震補強方法確立することで、更新布設替え以外の耐震化手法の選択肢を提示し、管路の耐震化の促進に寄与する。

革新的技術実証事業 実施状況 1/5

No	年度	テーマ分類	実施事業名称	実証 フィールド	ガイ ドライン
B-DASHプロジェクト					
1	H23	水処理(固液分離)・バイオガス回収・精製・発電	超高効率固液分離技術を用いたエネルギーマネジメントシステム技術実証事業	大阪市	○
2			神戸市東灘処理場 再生可能エネルギー生産・革新的技術実証事業	神戸市	○
3		下水汚泥の固形燃料化	温室効果ガスを抑制した次世代型下水汚泥固形燃料化技術実証事業	長崎市	○
4			廃熱利用型 低コスト下水汚泥固形燃料化技術実証事業	松山市	○
5	H24	未処理下水の熱利用	管路内設置型熱回収技術を用いた下水熱利用技術実証事業	大阪市	○
6		栄養塩(窒素)除去	固定床型アナモックスプロセスによる高効率窒素除去技術実証事業	熊本市	○
7		栄養塩(リン)除去・回収	神戸市東灘処理場 栄養塩除去と資源再生(リン) 革新的技術実証事業	神戸市	○
8	H25	焼却排熱発電	脱水・燃焼・発電を全体最適化した革新的下水汚泥エネルギー転換システムの実証事業	池田市	○
9			下水道バイオマスからの電力創造システム実証事業	和歌山市	○
10		管渠マネジメント	高度な画像認識技術を活用した効率的な管路マネジメントシステム技術に関する技術実証事業	船橋市	○
11			管口カメラ点検と展開広角カメラ調査及びプロファイリング技術を用いた効率的管渠マネジメントシステムの実証事業	八王子市	
12			広角カメラ調査と衝撃弾性波検査法による効率的な管渠マネジメントシステムの実証事業	河内長野市 大阪狭山市	
13	H26	水素創出	水素リーダー都市プロジェクト～下水バイオガス原料による水素創エネ技術の実証～	福岡市	○
14		省エネ型水処理(標準法代替)	無曝気循環式水処理技術実証事業	高知市	○
15		省エネ型水処理(高度処理代替)	高効率固液分離技術と二点DO制御技術を用いた省エネ型水処理技術の技術実証事業	埼玉県	○
16		ICTを活用した水処理	ICTを活用した効率的な硝化運転制御の実用化に関する技術実証事業	茨城県	○
17			ICTを活用したプロセス制御とリモート診断による効率的な水処理運転管理技術実証事業	福岡県	○

No	年度	テーマ分類	実施事業名称	実証 フィールド*	ガイ ドライ ン
18	H26	ICTを活用した浸水対策	ICTを活用した浸水対策施設運用支援システム実用化に関する技術実証事業	広島市	○
19	H27	バイオガス集約・活用	複数の下水処理場からバイオガスを効率的に集約・活用する技術	山鹿市 大津町 益城町	○
20		CO2分離・回収・活用	バイオガス中のCO2分離・回収と微細藻類培養への利用技術実証事業	佐賀市	○
21		降雨・浸水予測	都市域における局所的集中豪雨に対する雨水管理技術実証事業	福井市 富山市	○
22		設備劣化診断	ICTを活用した下水道施設の劣化状況把握・診断技術の実証	守谷市 日高市	○
23			ICTを活用する劣化診断技術および設備点検技術実証事業	仙台市	○
24		空洞探査	車両牽引型深層空洞探査装置の実用化に向けた技術実証事業	船橋市	
25			三次元陥没予兆診断技術に関する実証事業	豊中市	
26			陥没の兆候の検知を目的とした空洞探査の精度と日進量の向上技術の検証	名古屋市 相模原市	
27		再生水利用	下水処理水の再生処理システムに関する実証事業	糸満市	○
28	H28	中小処理場向け	脱水乾燥システムによる下水汚泥の肥料化、燃料化技術実証事業	鹿沼市	○
29		汚泥有効利用	自己熱再生型ヒートポンプ式高効率下水汚泥乾燥技術実証事業	秦野市	○
30		ダウンサイジング水処理(標準法)	DHSシステムを用いた水量変動追従型水処理技術実証事業	須崎市	○
31		ダウンサイジング水処理(OD法)	特殊繊維担体を用いた余剰汚泥削減型水処理技術実証事業	辰野町	○
-	H28 予備	管きょ腐食点検・調査	下水圧送管路における硫化水素腐食箇所の効率的な調査・診断技術に関する調査事業	—	○

革新的技術実証事業 実施状況 3/5

No	年度	テーマ分類	実施事業名称	実証 フィールド	ガイド ライン
32	H29	地産地消エネルギー活用技術	高効率消化システムによる地産地消エネルギー活用技術の実用化に関する実証事業	唐津市	○
33		省エネ型汚泥焼却技術	温室効果ガス削減を考慮した発電型汚泥焼却技術の実用化に関する実証事業	川崎市	○
34		省エネ・低コストな水処理能力向上技術	最終沈殿池の処理能力向上技術実証事業	松本市	○
35	H30	ICT活用型下水道施設管理	クラウドを活用し維持管理を起点とした継続的なストックマネジメント実現システムの実用化に関する実証事業	池田市 恵那市	○
36		ICTを活用型管路マネジメント	維持管理情報のビックデータ解析による効果的なマネジメントサイクルの確立に関する実証事業	兵庫県 高知県	○
37			ICTを活用した総合的な段階型管路診断システムの確立にかかる実証事業	大阪市	○
38		中規模向けエネルギーシステム	高濃度消化・省エネ型バイオガス精製による効率的エネルギー利活用技術に関する実証事業	富士市	○
39		小規模向けエネルギーシステム	小規模下水処理場を対象とした低コスト・省エネルギー型高濃度メタン発酵技術に関する実証事業	長岡市	○
40		下水熱(車道融雪)	小口径管路からの下水熱を利用した融雪技術の実用化に関する実証事業	十日町市	
41			ヒートポンプレスで低LCCと高COPを実現する下水熱融雪システムに関する研究	新潟市	○
42		ICT・AI制御高度処理技術	単槽型硝化脱窒プロセスのICT・AI制御による高度処理技術実証事業	町田市	○
43	H31	クラウド・AI活用マンホールポンプ管理	ICT技術(クラウドAIシステム)を用いた汚水マンホールポンプのスマートオペレーションの実証	富山市	
44		AIによる管内異常検知技術	水位計と光ファイバー温度分布計測システムにAIを組合せた雨天時浸入水調査技術の実用化に関する実証事業	さいたま市 藤沢市	○
45			AIによる音響データを用いた雨天時浸入水検知技術の実用化に関する実証事業	郡山市 つくば市 名古屋市 神戸市 熊本市	○

革新的技術実証事業 実施状況 4/5

No	年度	テーマ分類	実施事業名称	実証 フィールド	ガイド ライン
46	R2	移設可能な水処理	災害時に応急復旧対応可能な汚水処理技術の実用化に関する実証事業	愛知県田原市	○
47		中小向け低コスト汚泥減量化(広域化)	中小規模広域化におけるバイオマスボイラによる低コスト汚泥減量化技術実証事業	室蘭市	○
48		クラウド・AI活用マンホールポンプ管理	IoTとAIを活用した効率的予防保全型マンホールポンプ維持管理技術の実証事業	河内長野市・ 今治市・赤磐市	○
49	R3	IICT広域監視制御技術	ICTを活用した下水道施設広域管理システムに関する実証事業	倉敷市	
50		AI活用水処理運転支援技術	AIを活用した下水処理場運転操作の先進的支援技術に関する実証事業	広島市 船橋市	○
51		雨天時浸入水量予測及び雨天時運転支援技術	AIを用いた分流式下水の雨天時浸入水対策支援技術に関する実証事業	愛知県	
52			分流式下水道の雨天時浸入水量予測及び雨天時運転支援技術に関する実証事業	丹波市	
53	R4	最初沈殿池におけるエネルギー回収技術	高効率最初沈殿池による下水エネルギー回収技術に関する実証事業	大阪市	
54		深槽曝気システムにおける省エネ型改築技術	省エネ型深槽曝気技術に関する実証事業	埼玉県	
55	R4 補正	消化汚泥から効率的にリンを回収する技術	消化汚泥から効率的にリンを回収する技術に関する実証事業	神戸市	
56		MAPにより脱水ろ液から効率的にリンを回収する技術	MAPにより脱水ろ液から効率的にリンを回収する技術に関する実証事業	横浜市	
57		MAP以外で脱水ろ液から効率的にリンを回収する技術	新たなリン回収システムによる下水道の資源化に関する実証事業	東京都	

革新的技術実証事業 実施状況 5/5

No	年度	テーマ分類	実施事業名称	実証 フィールド [※]	ガイド ライン
58	R5	発酵熱を利用した効率的なコンポスト化技術	縦型密閉発酵槽による下水汚泥の肥料化技術に関する実証事業	島根県	
59		汚泥付加価値向上のための超高温炭化技術	汚泥の高付加価値化と低炭素社会に貢献する超高温炭化技術に関する実証事業	気仙沼市	
60	R5 補正	炭化物により下水汚泥資源からリンを回収する技術	リン吸着バイオ炭によるリン回収および炭素貯留技術の実証事業	福山市	
61	R6	下水汚泥の肥料利用促進に向けた資源回収技術	余剰汚泥からの高効率MAP回収システムに関する実証事業	福岡市	
AB-Crossプロジェクト					
62	R6 補正	分散型システム	住宅向け小規模分散型水循環システムの地域展開実証事業	珠洲市	
63	R7	ダウンサイジング可能な技術	好気性グラニュールによるダウンサイジング可能な下水処理技術	宮城県	
64		効率的な耐震化技術	補強金具による非耐震ダクタイル鋳鉄管路の耐震補強の実証事業	穴水町	
65		分散型システム	中山間部における分散型水循環システムの実証研究	長野県喬木村	
66			小規模水道におけるハイブリッド小型緩速ろ過システムの実証事業	熊本県天草市 長野県中川村	

採択年度	実証技術	実証フィールド	要素技術	導入先(順不同)
H23	超高効率固液分離技術を用いたエネルギー・マネジメントシステム	大阪市	超高効率固液分離	秋田県、岩手県大船渡市、新潟県糸魚川市、石川県小松市、大阪市(2箇所)、北九州市山口健周南市
H23	神戸市東灘処理場 再生可能エネルギー生産・革新的技術(バイオガスを活用した効果的な再生可能エネルギー生産システム)	神戸市	地域バイオマス受入・混合調整設備	神戸市
			高機能鋼板製消化槽	埼玉県、愛知県、滋賀県、福知山市、兵庫県、久留米市、熊本市、佐賀市、大阪府
			新型バイオガス精製装置	神戸市(2箇所)、京都市
			高効率ヒートポンプ	愛知県
H24	管路内設置型熱回収技術を用いた下水熱利用技術実証事業	大阪市	下水熱採熱技術	青森県弘前市、仙台市、新潟市(2箇所)、横浜市、愛知県豊田市、富山県富山市、滋賀県大津市、福岡市、大阪市、札幌市
H24	神戸市東灘処理場 栄養塩除去と資源再生(リン)革新的実証事業	神戸市	リン回収	福岡市
H25	管口カメラ点検と展開広角カメラ調査及びプロファイリング技術を用いた効率的管渠マネジメントシステム	八王子市	管口カメラのみ、 管口カメラ点検＋展開広角カメラ調査、 管口カメラ点検＋直側カメラ調査	宮城県村田町、宮城県富谷市、福島県いわき市、福島県南相馬市、茨城県行方市、茨城県小美玉市、茨城県神栖市、茨城県大洗町、千葉県、千葉県柏市、千葉県白井市、千葉県茂原市、千葉県浦安市、千葉県芝山町、千葉県木更津市、千葉県袖ヶ浦市、さいたま市、埼玉県川越市、埼玉県春日部市、埼玉県行田市、埼玉県新座市、埼玉県草加市、埼玉県秩父市、茨城県神栖市、茨城県大洗町、東京都清瀬市、東京都稲城市、東京都福生市、東京都日野市、東京都瑞穂町、東京都八王子市、神奈川県厚木市、福井県福井市、長野県諏訪市、長野県岡谷市、長野県小諸市、長野県佐久市、岐阜県関市、静岡県磐田市、静岡県袋井市、静岡県藤枝市、愛知水と緑の公社、愛知県高浜市、愛知県西尾市、愛知県刈谷市、愛知県岡崎市、愛知県愛西市、愛知県豊川市、愛知県小牧市、愛知県東浦町、愛知県豊田市、愛知県高浜市、滋賀県米原市、和歌山県かつらぎ町、京都府向日市、京都府京田辺市、大阪府羽曳野市、大阪府河内長野市、大阪府熊取町、大阪府泉津市、大阪府大阪狭山市、大阪府柏原市、大阪府摂津市、大阪府豊能町、奈良市、奈良県天理市、奈良県川西町、奈良県宇陀市、奈良県桜井市、兵庫県伊丹市、兵庫県川西市、兵庫県三田市、兵庫県姫路市、兵庫県たつの市、兵庫県加西市、兵庫県上郡町、兵庫県加古川市、島根県出雲市、島根県雲南市、広島市、広島県福山市、広島県大竹市、広島県三原市、広島県府中町、広島県熊野町、広島県江田島市、愛媛県伊方町、愛媛県大洲市、高知市、福岡県古賀市、福岡県太宰府市、佐賀県江北町、佐賀県鳥栖市、長崎県諫早市、熊本県上天草市、熊本県嘉島町、熊本市、鹿児島県霧島市、鹿児島県日置市

※実証フィールド提供自治体のみ導入実績がある技術は除く

採択 年度	実証技術	実証 フィールド	要素技術	導入先(順不同)
H24	固定床型アナモックスプロセスによる高効率窒素除去技術実証事業	熊本市	窒素除去	大阪市
H25	脱水・燃焼・発電を全体最適化した革新的下水汚泥エネルギー転換システム	池田市	低空気比省エネ燃焼技術	埼玉県(2箇所)、愛知県(2箇所)、東京都、大阪市(2箇所)
			高効率排熱発電技術	埼玉県(2箇所)、愛知県(2箇所)
H25	広角カメラ調査と衝撃弾性波検査法による効率的な管渠マネジメントシステムの実証事業	河内長野市 大阪狭山市	広角カメラ	岩手県奥州市、東京都羽村市、広島市
			広角カメラ＋衝撃弾性波調査 または 衝撃弾性波調査のみ	北海道旭川市、北海道釧路市、北海道苫小牧市、北海道紋別市、北海道新ひだか町、青森県六ヶ所村、秋田県大仙市、宮城県村田町、福島県いわき市、茨城県日立市、群馬県中之条町、群馬県邑楽町、埼玉県春日部市、埼玉県久喜市、神奈川県海老名市、新潟県新潟市、新潟県魚沼市、長野県松本市、静岡県浜松市、滋賀県東近江市、大阪府堺市、大阪府河内長野市、奈良県天理市、長崎県佐世保市、大分県大分市、大分県日出町
H26	ICTを活用した効率的な硝化運転制御の実用化に関する技術実証事業	茨城県	硝化制御技術 アンモニア計	横浜市(2箇所)
H26	ICTを活用したプロセス制御とリモート診断による効率的な水処理運転管理技術	福岡県	NH4-Nセンサーを活用した曝気風量制御(NH4-N/DO制御)技術	横浜市(3箇所)
H27	ICTを活用する劣化診断技術および設備点検技術実証事業	仙台市	センサーモニタリング	札幌市、埼玉県、長野県
			設備劣化簡易診断	
H28	脱水乾燥システムにおける下水道の肥料化・燃料化技術	鹿沼市	脱水乾燥システム	千葉県市原市、栃木県小山市、神奈川県綾瀬市、熊本県山鹿市
			円環式気流乾燥機	福島県いわき市、石川県
H28	下水道圧送管路における硫酸腐食箇所の効率的な調査技術	—	—	秋田県、東京都、東京都国立市、山梨県、石川県、福井県、滋賀県、京都府、滋賀県大津市、兵庫県、三重県、島根県、佐賀県佐賀市、沖縄県
H29	温室効果ガス削減を考慮した発電型汚泥焼却技術の実用化に関する実証事業	川崎市	発電、局所攪拌一式	川崎市、浜松市
H29	最終沈殿池の処理能力向上技術実証事業	松本市	ファイナルフィルター	糸魚川市
H30	高濃度消化・省エネ型バイオガス精製による効率的エネルギー利活用技術	富士市	高濃度消化技術	仙台市
			小規模水素供給設備	神戸市
H30	ヒートポンプレスで低LCCと高COPを実現する下水熱融雪システムに関する研究	新潟市	高熱性能採熱管	福岡市、大阪市、札幌市

※実証フィールド提供自治体のみ導入実績がある技術は除く

採択 年度	実証技術	実証 フィールド	要素技術	導入先(順不同)
H30	クラウドを活用し維持管理を起点とした継続的なストックマネジメントシステムの実用化に関する実証事業	池田市 恵那市	ICT活用施設管理	埼玉県、岐阜県中津川市、熊本市
H30	維持管理情報のビッグデータ解析による効果的なマネジメントサイクルの確立に関する実証事業	兵庫県 高知県	管路情報の一元管理技術	兵庫県上郡町、兵庫県洲本市、高知県の町、高知県東洋町
H31	単槽型硝化脱窒プロセスのICT・AI制御による高度処理技術実証事業	町田市	送風機省エネ	横浜市、横須賀市、市原市、山梨県
H31	AIによる音響データを用いた雨天時浸入水検知技術の実用化に関する実証事業	郡山市 つくば市 名古屋市 神戸市 熊本市	AI音響調査	秋田県北秋田市、愛知県岡崎市、京都府福知山市、兵庫県赤穂市、千葉県柏市、群馬県、茨城県稲敷市、東京都東大和市、群馬県渋川市、千葉県柏市、静岡県焼津市、岐阜県土岐市
R1	水位計と光ファイバー温度分布計測システムにAIを組合わせた雨天時浸入水調査技術	さいたま市 藤沢市	水位計とAIによる絞り込み技術	山形県上山市、山形県山辺町、東京都八王子市
			ラインスクリーニングとAIによる絞り込み技術	千葉県柏市
R2	IoTとAIを活用した効率的予防保全型マンホールポンプ維持管理技術の実証事業	大阪府河内 長野市(愛知県) 今治市(岡山県) 赤磐市	AIによる異常運転検知機能	宮城県角田市、福島県いわき市、群馬県太田市、富山県、山梨県韭崎市、山梨県甲州市、岐阜県美濃加茂市、滋賀県栗東市、滋賀県東近江市、滋賀県長浜市、奈良県上牧町、奈良県田原本町、鳥取県八頭町、熊本県熊本市
			AIによる異常運転検知機能＋更新優先順位自動作成機能	長野県諏訪市

※実証フィールド提供自治体のみ導入実績がある技術は除く